

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<p>【思考・判断・表現】 ○読み取ったことを自分の考えの根拠として書いて表現する力に課題がみられる。</p> <p>【知識・技能】 ○読解を支える基本的な文法事項や言葉の理解など、基礎的な言語の知識・理解に曖昧な点があり、細部の読み違いや誤った文章表現がみられる。</p>	<p>【思考・判断・表現】 ○抽象的な内容を具体的に理解することや、具体的な内容から共通点を見つけて表現することを通して、考えとその根拠のつながりを理解できるようにする。</p> <p>【知識・技能】 ○指導内容を明確にし、授業の終わりや単元のまとめの際に、振り返りを必ず行う。生徒の考えや達成できたことを言語化する機会を多くもち、添削等を行うことで基礎的な言語能力を育む。</p>	
社会	<p>【適切な難易度の設定】 ○社会科を苦手と感じ意欲がもてない。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度の重要性】 ○社会科を好きな生徒が育っていない状況である。</p>	<p>【適切な難易度の設定】 ○社会科に苦手意識をもつ生徒も達成感を得られるよう、内容を厳選し基礎基本を押さえられるようなプリントを作成する。 ○上記プリントを単元テストとリンクさせ、生徒が何度も完答することができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度の重要性】 ○各単元では、教科書には掲載しきれない、補足的な知識を示し、それを受けて思考力が育まれるような深い発問を開発する。 ○授業へワクワク感をもって参加し、理解すると必然的に、「これについてはどうだろう？」という循環になる。そこでクロームブックなどを活用し、単元テスト実施時に課題を設定して、調べた結果を答えることも試行的に行う等、自ら調べ学習ができるよう学習活動を設定し、生涯教育につなげる。</p>	
数学	<p>【知識・技能】 ○計算の本質やグラフの意味などが理解出来ていない生徒が多くいる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○既習事項を活用した問題や日常生活に関する問題などになると苦手とする生徒が多い。</p>	<p>【知識・技能】 ○計算問題の練習をするとともに、途中式の書き方やグラフなどの書き方の基本から丁寧に指導し、他の生徒の書き方なども参考にさせられるように全体に共有できるような指導をする。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○国や都の学力調査などにある、「活用」に関する問題を個人だけで考えるだけでなく、グループ活動などを取り入れ、多様な考えにふれ、楽しみながら考えられる場を設定する。</p>	

理科	<p>【知識・技能】 ○知識の定着が十分でない。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○意欲的に実験や観察を行う生徒は多いが、結果から考察を導き出すことが苦手な生徒も多くいる。また、グループごとの結果の発表では、いつも同じ生徒が発言するなど、偏りがみられる。得られた結果を正しく分析し、考え、表現する力の向上が必要である。</p>	<p>【知識・技能】 ○定期的に小テストを行い、正しい知識を身に付けているかを確認する。また、単元が終わった際には復習として総合問題を解き、知識が定着しているかを図る機会を設ける。 ○ワークを活用することで、正しく理解できているかの確認をする。授業内で活用ブックを解いた後、家庭でワークの取組を促すなど、効果的な学習方法を提案する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○生徒の発表をもとに対話をしながら、科学的思考力を追究する学習形態の指導に時間をかけていく。実験結果をICTまたはその他の視覚的な提示方法を利用して共有していく。また実験の結果などはレポートなどを通して表現力を向上させる。新学習指導要領準拠のデジタルコンテンツなどを利用した提示教材の構造化等を進め、教材の工夫をして、興味、関心、意欲を高め深い学びを実現させる。</p>	
音楽	<p>【知識・技能】 ○今まで技能分野は歌唱領域に偏っていたため、その他の技能学習計画の効率と一貫性を要する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○クロームブックを活用した学習活動を充実させるために、音楽科として効果的にICT機器を活用する必要がある。</p>	<p>【知識・技能】 ○歌唱以外の領域、器楽、創作を取り入れた学習計画を立て、実践する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○タブレット学習に必要なスキルを教員がしっかり備え、様々なICT機器を実験的に活用する。</p>	
美術	<p>【知識・技能】 ○道具の基礎的・基本的な技能が身に付いていない生徒がいる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○自分の作りたい作品のイメージを形にすることが苦手な生徒が多々見受けられる。</p>	<p>【知識・技能】 ○ワークシートを用いて知識、技能を確認しながら、作品制作や単元テストで定着させる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○動機付けに重点を置く。また、卒業生や教員の参考作品を提示し解説を加えることによって視野を広げる。</p>	

保健 体育	<p>【課題解決】 ○生徒一人ひとりが課題意識をもって取り組むことができているが、課題解決に向けた具体的な行動をとることができる生徒は少ない。思考力・判断力・表現力の育成が課題。</p> <p>【体力向上】 ○50m走、上体起こしが全体的に低い傾向がある。</p>	<p>【課題解決】 ○ペア学習やグループ学習を活用し、学習カードに個人あるいはチームにおける課題やその改善策を書かせたり、それを実践したりする場や時間の確保をする。</p> <p>【体力向上】 ○毎時間の柔軟運動・補強運動に加え、ベースボール型やゴール型の単元で投動作の機会を増やしていく。</p>	
技術 ・ 家庭	<p>【知識・技能】 ○小学校で身に付けているはずの基礎的・基本的な技能が身に付いていない生徒がいる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○課題には積極的に取り組む生徒が多いが、思考を広げたり深めたりするのが難しい生徒もいる。</p>	<p>【知識・技能】 ○製作活動の中に、基礎的な技能を取り入れ、単元テストとして実技テストを行うことで、技能を定着させる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○授業で課題を提示する際は、時間をきちんと確保すること、また途中、思考のヒントとなることを個別に与えていく。</p>	
外国 語	<p>【知識及び技能の定着】 ○基礎的な知識、技能の定着は見られるが、即興での返答に苦手意識がある。</p> <p>○長い英文を読むことに抵抗がみられる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力の育成】 ○目的や場面、状況に合わせて、既習事項を活用する力が不十分である。</p>	<p>【知識及び技能の定着】 ○帯活動や問いかけなどで日頃から応答の練習をする。また、パフォーマンステストも即興性を重要視していく。</p> <p>○長い文章に触れる機会を増やし、大まかに捉える練習をする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力の育成】 ○目的・場面・状況を把握させ、表現させる機会を設け、その際に文法事項の訂正を細かく行わないよう配慮する。</p>	